

令和2年度 林業試験研究推進計画書

1 課題名	スギ・ヒノキ人工林の林床を活用した山菜等の栽培に関する研究		
2 研究期間	令和2～4年度	3 総括責任者	森林経営課 黒岩 宣仁

4 背景と目的

高知県では、中山間地域の人口減と高齢化が加速し、限界集落から集落の消滅が懸念される事態に直面している。県は中山間地域への対策として集落活動センターを核とした全面的な支援を行っている。

中山間地域の山野で生産できる山菜や薬用植物等の採取・栽培は、全国的な担い手不足で供給量の低下が懸念される一方で、消費者の輸入品に対する安全性への不安や高齢化社会と健康志向、食の多様化等で需要の拡大が期待されている。このことは、中山間地域における生産体制が構築できれば、長期にわたって安定的な収入が得られ中山間地域の活性化につながられる可能性があることを示唆している。さらに中山間地域の面積の大半占めるスギ・ヒノキ人工林の林床を活用できれば、木材価格の低迷に悩む林業経営者にとっても副収入源につながる。

本研究の目的は、スギ・ヒノキ人工林を活用した中山間地域の活性化につながる栽培品を選定することにある。このためには、市場の的確なニーズの把握、栽培に費やすコストや労働強度の低さが重要であり、収益性が望める必要がある。そこで、山菜類に限定せず、薬用植物、花木等も含めた数多くの品目の中から、市場や栽培に関する情報を収集して複数の候補を選定し、小面積ながら試験的に栽培して、特性を確認し、収益性の条件と照合して評価し、有望な品目を決定する。

5 到達目標

特用林産の振興を通じた中山間地域の活性化 林業の収益性向上と雇用の確保

6 研究年次計画

試 験 計 画		担当者
試験項目・試験内容	試験年度	
1 試験品目の選定 1) 市場の情報調査 2) 栽培地の視察 3) 生産者へのヒアリング	R2	森林経営課 黒岩宣仁 渡辺直史 藤本浩平 和食敦子
2 試験地の設置 1) 試験品目の入手 2) 試験地の設置 3) 試験品目の植え付け	R2	
3 栽培の管理と調査 1) 成長量の把握 2) 生育阻害要因の把握 3) 栽培に係るコスト及び労働強度の把握	R2～R4	
4 栽培品目の決定 1) 問題点の抽出 2) 評価	R4	

7 当年度研究実施計画

- 1 試験品目の選定
 - 1) 市場の情報調査
 - 2) 栽培地の視察
 - 3) 生産者へのヒアリング
- 2 試験地の設置
 - 1) 試験品目の入手

- 2) 試験地の設置
- 3) 試験品目の植え付け
- 3 栽培の管理と調査
 - 1) 成長量の把握
 - 2) 生育阻害要因の把握
 - 3) 栽培に係るコスト及び労働強度の把握